

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 03 11	中期総合計画主要施策番号		1-08	担当課	部・課	農政部農業技術課	
事業名		農薬安全対策総合推進事業					内線	3073	
							E-mail	nogi@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	農薬の適正使用を推進する研修会の開催や農薬管理指導士(農薬の取り扱いについて指導的役割を果たす者)の認定、マイナー作物(地域特産作物:生産量3万t以下)の農薬登録拡大、埋設農薬の無害化処理等を行うことにより、農薬の安全かつ適正な取り扱いを確保し、農薬による危害が生じないようにする。							
	事業の必要性	<p>【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用の啓発をしているが、例年不適正な事例が発生している。 ・マイナー作物の登録農薬が少ないために、十分な病害虫対策がとれない。 ・県内には埋設農薬が128tあり、その処理が求められている。 <p>【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬使用者に対する適正な使用、保管管理及び処分についての指導等が行き届いていない。 ・マイナー作物の農薬登録を行うには、必要な試験成績にかかる時間と経費がかかる。 ・市町村及びJA等が埋設農薬の処理を行うには、コストの面で大きな負担がある。 <p>【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬安全使用推進大会の開催や農薬管理指導士の認定、マイナー作物の農薬登録の拡大、埋設農薬の無害化処理等により農薬の安全かつ適正な取り扱いを確保し、農薬による危害が生じないようにする必要がある。 							
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬安全使用推進大会の開催、農薬管理指導士の認定、マイナー作物の農薬登録拡大 ・農薬安全使用の推進等に係る補助(補助率:【国】1/2、【県】1/2) ・埋設農薬処理に係る補助(補助率:【県】3/4、【全市町村・全JA等】)1/4、但し、一部国庫1/2を活用) 							
	実施期間	H16 ~		根拠法令等	食の安全・安心確保交付金交付要綱、長野県食と農業農村振興計画ほか				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・農薬の安全かつ適正な取り扱いを確保する。		<ul style="list-style-type: none"> ・農薬管理指導士の認定を行うこと。認定予定者数: 887人(新規30、更新300、継続557) ・要望等のあったマイナー作物の薬剤8剤について試験を行うこと。(チンゲンサイ、カリフラワー等) ・マイナー作物の農薬の登録拡大を図ること。(過去の実績から2剤程度を目標) ・11tの埋設農薬について、処理を行うこと。 			<ul style="list-style-type: none"> ・農薬管理指導士の総認定者数は884人であった。(新規37、更新290、継続557) ・薬剤8剤について試験を実施した。(うち2剤が登録申請中、3剤が登録に向け作業中、3剤が継続試験予定) ・マイナー作物の農薬の2剤が登録された。(くるみ、センブリ) ・11tの埋設農薬の掘削作業を進めた。 		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	172,390	152,312	4,322	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	7,315	118,391	-	実施方法	直接、補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,964	1,669	2,061	歳出節別内訳等	需用費:1,707 補助金:115,649 役務費:778 (H21への繰越額:148,674)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	2.00	2.00	2.00	(単位: 千円)		
	概算人件費 (C)		千円	14,280	14,298	14,298			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	21,595	132,689	18,620				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	農薬管理指導士		人	935	884	934	農薬安全使用推進大会の開催 3箇所 457人		
	登録農薬拡大試験実施数		剤	12	8	5			
	登録農薬数		剤	2	2	2			
	埋設農薬の最終処分量		t	28/128	117/128	128/128			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・農薬取締法に基づく検査・指導、マイナー作物の農薬登録拡大試験は県の業務となっている。 ・埋設農薬処理対策については、環境問題の視点からも早急に対応する必要がある。 ・有効性を高めるため、21年度は、農薬安全使用推進大会の内容をより充実させるとともに、県下4箇所を実施を予定している。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・安全・安心な農産物の生産や生活環境の保全是、農家及び消費者等の県民ニーズになっている。 ・ポジティブリスト制度導入後、数件の農薬不適正使用事例があり、更に継続して対策を徹底する必要がある						